



Business Report



第54期年次報告書

株主・投資家の皆様へ

2018年4月1日～2019年3月31日



証券コード 3640

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに株主通信をお届けするにあたり、
株主の皆様にご挨拶および2019年3月期のご報告をさせていただきます。

代表取締役社長 轟 一太



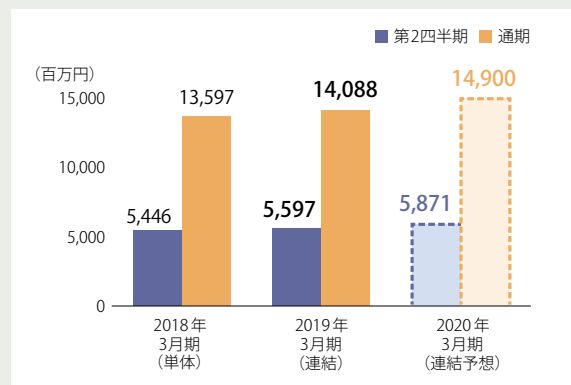
当期業績

新総合行政情報システムの導入や各種パッケージシステムの更改で売上を確保。特別損失を計上したことにより、営業損失を計上。

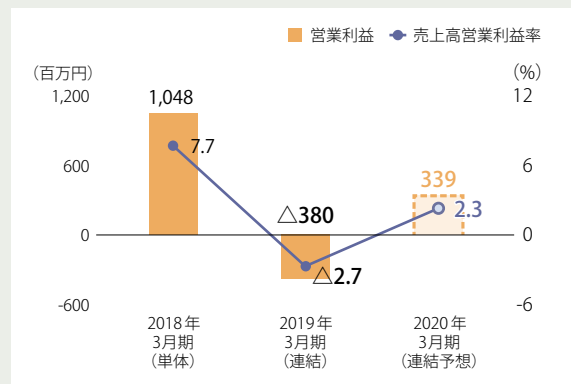
2019年3月期の業績は、公共分野で新総合行政情報システムの導入、基幹系および情報系システムの更改、各種法制度改正の対応、また産業分野でリース業務パッケージをはじめとする各種パッケージシステムの開発・導入、病院総合情報システムの更改などで売上を確保しました。

利益につきましては、新規導入の際に、安全かつ確実にシステムに切り替えるための作業を重点的に実施したことなどにより、売上原価が増加し、利益率を押し下げる要因となりました。また、新総合行政情報システムの一部業務のソフトウェア資産を減損処理し、特別損失を計上しました。特別損失についての詳細は、当社ホームページ (<https://www.ndensan.co.jp/ir/index.html>) のIR情報をご覧ください。

売上高の推移



営業利益と売上高営業利益率の推移



(注) 2019年3月期より連結決算としており、前期数値は参考として単体の数値を記載しております。

元号改正に伴う当社の取り組み

5月1日に新天皇陛下が即位され、令和元年がスタートしました。

各報道で改元によるさまざまなシステム障害や混乱が予想されましたが、当社は、2018年(平成30年)よ

りすでに改元準備をお客様と共に進めておりましたので、大きな問題もなく、令和元年5月1日を迎えることができました。

平成30年(2018年)

6月 想定されるリスクの検討開始

平成31年(2019年)

10月 地方公共団体向けに改元対応の概要と方針を説明

令和元年(2019年)

当社システム・サービスの
新元号でのスタート

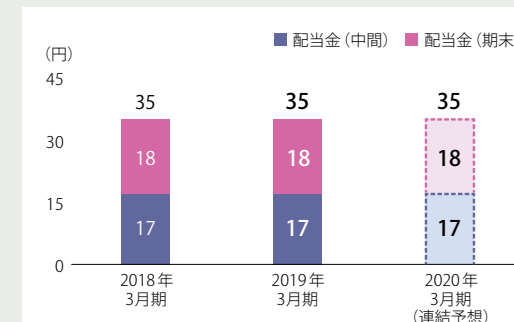
2月 改元前後の作業計画など、
具体的な内容を含めて2回目の説明会を実施

4月末 対応プログラムの
配布・切り替え作業の実施

配当について

当社は、株主様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けた上で、経営体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の確保および毎期の業績に基づき配当政策を実施しております。2020年3月期は、1株当たり中間配当を17円、期末配当を18円とし、合わせて年間35円を予定しております。

配当金の推移



環境や制度の変化に対応できる 地方公共団体向け新パッケージシステム

地方公共団体向けの新総合行政情報システム「Reams」を2018年10月から提供しています。

1982年のシステム提供開始以来、全国約140の自治体で導入されている当社の主力製品で、お客様からいただいた「声」を基にバージョンアップした5世代目となる最新のパッケージシステムです。近年のICT環

境の変化や、マイナンバー制度から波及する住民サービス、国が推進する共通基盤対応といった新しい顧客のニーズに、迅速かつ継続的に対応。利用者視点に立ってシンプルで使いやすくなった操作性に加え、将来を見据えた高い拡張性と優れた保守性を備えています。

Reams の特長



窓口での各種手続きをスムーズに

窓口案内型／スーパーマン型／受付集約型／総合受付型／組み合わせにも対応



窓口に行かなくても 住民サービスが受けられる環境

オンライン申請受付／コンビニ証明書交付／公共料金支払いの多様化に対応



ミスを未然に防ぐ、直感的な 操作性と入力チェック／入力支援

直感的でわかりやすい操作性と、誤入力や誤操作を未然に防ぐ、入力チェック機能や入力支援機能を装備



自治体の情報システムに必要なすべてを ワンストップで

ソフト、ハードウェア、ネットワーク、各種用紙、教育研修などの多様なサービスメニューを用意、情報システムの効率的な運用に必要なすべてをワンストップで提供



充実のサポートサービスで円滑な 行政サービス提供を支援

運用保守サポート／システムサポート／継続的な運用の最適化



情報セキュリティ確保のための さまざまなサービスを提供

高度なセキュリティに対応したデータセンターサービスの他、情報システムを安全・安心してご利用いただくための多層的なセキュリティサービスを提供

導入事例

山梨県 甲府市様

山梨県甲府市様にて、業務システムの情報分析・活用を容易にすることで、より質の高い住民サービスの提供につなげることを目的として、新総合行政情報システム「Reams」をご導入いただき、2019年1月に稼働しました。

甲府市様は、2019年4月1日に中核市に移行しました。移行に伴い、県から身体障害者手帳の交付や母子父子寡婦福祉資金貸付などの事務が移譲されました。新たな事務作業への対応に向け「身体障がい者手帳交付事務サービス」「母子父子寡婦福祉貸付金システム」「障害福祉サービス指定事業者等管理システム」の3システムを提供し、各課職員の皆様の多大なご協力のもと、すべての構築作業が無事完了しました。

今後もお客様に価値あるソリューションを提案し、「Reams」をより多くのお客様にご利用いただき、信頼を得ることに努めてまいります。



中核市移行式典の様子



庁舎外観

リース会社向けの営業支援から 決算・統計までを網羅したトータルシステム

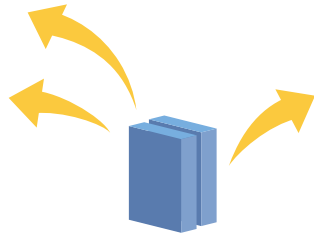
産業用・商業用の機器や自動車などの設備を長期的に賃貸借するリース会社向けのシステム「リース業務パッケージ」を提供しています。30年前の初代システ

ム開発から、今まで培った金融系特有の業務処理のノウハウを活かした「リース業務パッケージ」は多岐にわたるリース会社の業務を幅広くカバーしています。

システムの特長

汎用性の高いパッケージシステム

- リース会社の業務を幅広く網羅し、導入が容易なパッケージシステム



税制・会計制度変更などへの迅速・確実な対応

- 会計基準の変更や各種法令に迅速かつ確実に対応
- 年度ごとにお客様の声を反映した機能改定を実施



安全性の高いシステム運用

- J-SOX基準、FISC安全対策基準を意識した運用体制
- データセンターを利用した運用サービス



2019年度は今後のさらなる拡販に向け、「リース業務パッケージ」の商品力および競争力強化を図ります。

規模の大小を問わず多くのユーザー様の利用促進、 業界動向に適合するための機能強化を予定

機能強化例

- ワークフロー機能・SFA(営業支援システム)*機能の拡充など
- ワイド画面対応、インターフェース改善

※SFA(Sales Force Automation): 営業のプロセスや進捗状況を管理・共有し、営業活動を効率化するためのシステム

導入事例

ぶぎん
総合リース
株式会社様

ぶぎん総合リース株式会社様は本社を埼玉県さいたま市に置く地銀系リース会社です。1975年に武蔵野銀行グループのリース会社として設立、地域密着・迅速対応をスローガンとして発展・成長されています。

基幹システムの機能強化や業務効率化を目指し、当社の「リース業務パッケージ」をご導入いただき、2018年10月に稼働いたしました。

新しいシステムは当社データセンターの【仮想サーバサービス】を採用しています。お客様によるICT資産の所有・管理が不要となり、システム品質の確保・維持管理を効率的かつ効果的に行うことが可能となりました。また業務手続の見直しを図ったことにより、事務処理がスピード化されました。

今後もパッケージシステムの強化を図り、ぶぎん総合リース株式会社様の発展を支援してまいります。



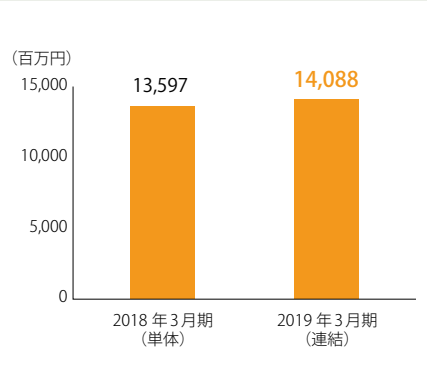
ぶぎん総合リース株式会社様本社ビル



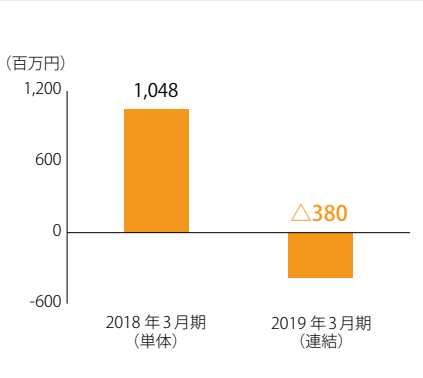
収益について

		前期 (単体) 自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	当期 (連結) 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日
① 売上高	(百万円)	13,597	14,088
② 営業利益又は 営業損失 (△)	(百万円)	1,048	△ 380
経常利益又は 経常損失 (△)	(百万円)	1,044	△ 385
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(百万円)	744	△ 1,062
売上高営業利益率 (△は損失率)	(%)	7.7	△ 2.7
1株当たり当期純利益 又は当期純損失 (△)	(円)	134.51	△ 191.28

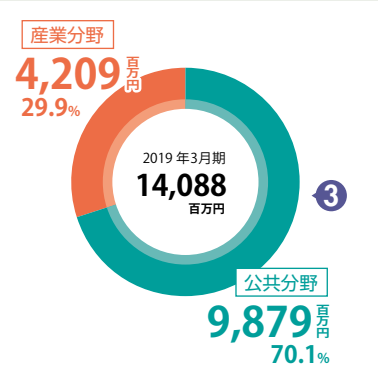
売上高



営業損益



セグメント別売上高



③ セグメント別売上高

公共分野では 98 億 79 百万円、産業分野では 42 億 9 百万円の売上を計上しました。

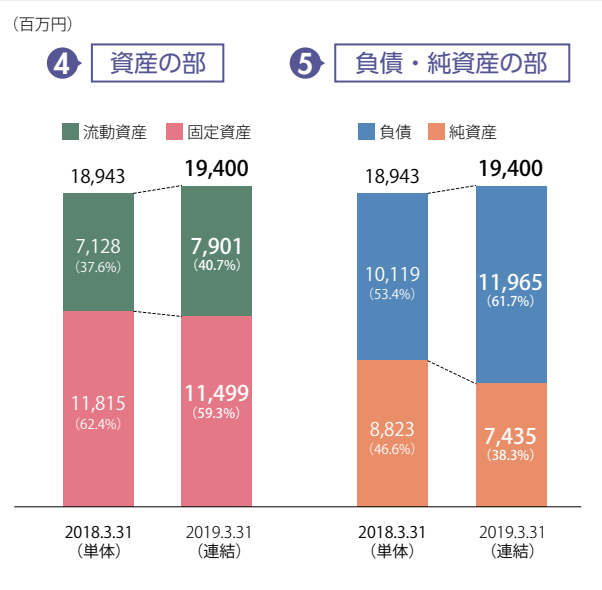
① 売上高

公共分野の新総合行政情報システムの導入、基幹系および情報系システムの更改および法制度改正対応、産業分野のリース業務パッケージおよび販売管理システム等の各種パッケージシステムの開発導入などで売上を確保し、140億88百万円となりました。

② 営業利益および損失

新総合行政情報システムの新規顧客の導入作業において、売上原価が増加し、利益率を押し下げる要因となり、営業損失を計上しております。また、新総合行政情報システムの一部業務のソフトウェア資産を減損処理し、特別損失を計上しております。

貸借対照表の概要



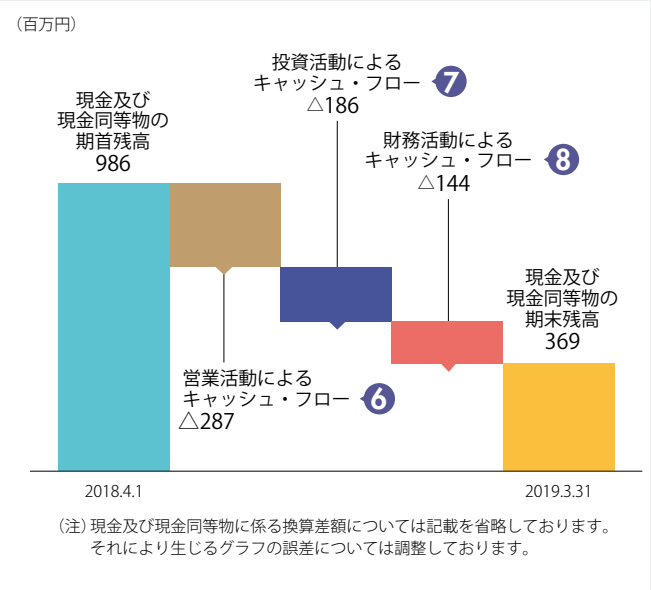
④ 資産

流動資産は 79 億 1 百万円、固定資産は 114 億 99 百万円となり、総資産は、194 億円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金が 46 億 32 百万円、建物及び構築物が 44 億 88 百万円、ソフトウェアが 30 億 69 百万円です。

⑤ 負債・純資産

流動負債が 73 億 16 百万円、 固定負債が 46 億 49 百万円となり、負債合計は、119 億 65 百万円となりました。純資産は、74 億 35 百万円となり、自己資本比率は 38.2%となりました。

キャッシュ・フロー計算書の概要



⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は 2 億 87 百万円で、主な要因は減損損失 9 億 63 百万円を計上したものの、税金等調整前当期純損失 13 億 53 百万円を計上したことによるものです。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

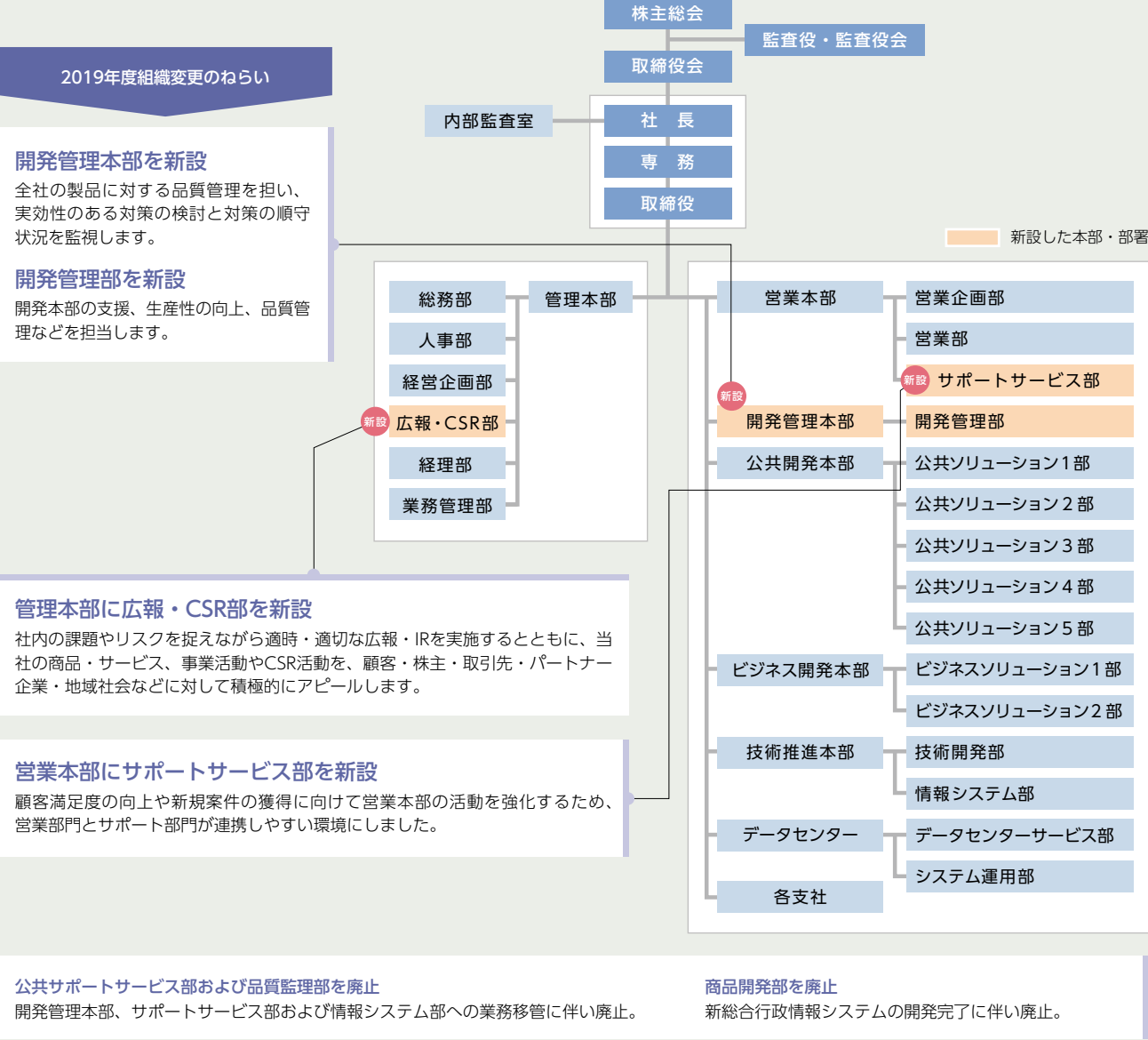
投資活動の結果使用した資金は 1 億 86 百万円で、主な要因は無形固定資産および有形固定資産の取得によるものです。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は 1 億 44 百万円で、主な要因は長期借入金の返済および配当金の支払いによるものです。

(2019年3月31日現在)

組織変更のお知らせ



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100 株
公告方法	電子公告により当社のホームページ (https://www.ndensan.co.jp/koukoku/index.html) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座の口座管理機関にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。上記株主名簿管理人とは、お問い合わせ先が異なりますのでご留意ください。

特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-232-711 (フリーダイヤル)



株式会社 電算

〒380-0904 長野県長野市鶴賀七瀬中町276-6
TEL.026-224-6666 FAX.026-219-2600



株主アンケート

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたく考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



ご回答の操作方法等のお問い合わせ先
株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局 E-mail: kabuhiro@irjapan.co.jp

アンケート
実施期間

2019年
7月31日(水)
まで

アンケートサイト(画面)への接続方法

Yahoo! や Google などから

アンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば

検索

URL **https://kabuhiro.jp/**

ご回答方法

アンケートサイト (https://kabuhiro.jp/) 画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面に進みます。

